

MDHCだより No. 73

H28. 1. 21

三河歯科衛生専門学校

歯科衛生士としての「やりがい」を感じるために必要なこと

医療法人翠章会 すまいる歯科
院長 山村 洋志明

すまいる歯科は2015年から実習生を受け入れることになり、新しい出会いと若者の持つエネルギーの高さ楽しくやりがいのある日々を過ごしております。

実習生を受け入れるに際して、我々が最も重要視していることは、歯科衛生士としての技術や知識の向上は当然でありながら、それと同等かそれ以上に必要な「職場内の人間関係を良好にする」ための考え方やスキルを身につけてもらうこととございます。なぜそのような「人間関係」が必要なのかというと、将来の就職に際して、条件や設備など、自分の理想どおりの職場にたとえ就職できたとしても、職場内の対人関係でつまづいていってしまうと早期離職の原因や歯科衛生士そのものから離れてしまう人が最近多いと聞くからです。例えて言うならば、美味しい食事でも苦手な人と一緒だったら、楽しい時間を感じることはできないものです。なぜならば「幸せは得るものではなく、感じるもの」だからです。

今の時代、おろそかにされがちな「人との関わり」というものが実は重要であり、人間関係を大切にして育んだ、信頼できる仲間がそばにいるからこそ、時にはきつい仕事であっても楽しく感じる事ができるのです。喜びや感動を増幅させるものは、条件や待遇ではなく「人の力」なのです。

「歯科衛生士」という職業に対して、一生「ワクワク！」や、「やりがい！」を持ちつづけてもらうために、我々は「人間が持つ力」を魂込めて伝えていきたいと思っております！



1 第1期臨床実習から

1) 自己評価

今年度は、より具体的・客観的に自己を振り返り、細かい反省点や課題を把握して今後の学習を確実に見出す目的で自己評価を33項目に分けて行いました。
※以下は各項目を合算した平均値です。

「基本的事項に関する評価」

①「社会人としての基本姿勢」を7項目(返事や時間厳守・言葉遣いなど)とし、「よくできた」44.0%、「できた」42.9%、「あと少し」2.4%、「できなかった」0.8%であり、努力次第で行える基本的事項が十分でない学生が半数以上いました。

②「患者理解」の2項目(相手の立場に立ち配慮するなど)は「よくできた」46.1%、「できた」38.2%、「あと少し」15.8%、「できなかった」0%でした。

③「学習姿勢」は6項目(積極的に取り組むなど)で「よくできた」22.4%、「できた」46.5%、「あと少し」27.2%、「できなかった」3.9%であり、満足のいく結果となった学生は2割と低かったです。

「実習帳に関する評価」

5項目(実習内容に沿って要点をまとめて書くなど)の平均は「よくできた」25.8%、「できた」43.7%、「あと少し」27.4%、「できなかった」3.2%でした。

「歯科診療補助に関する評価」

13項目(適切なバキューム操作・一連の流れを理解し器材を準備など)では「よくできた」13.4%、「できた」42.1%、「あと少し」36.0%、「できなかった」3.2%、「実習していない」5.3%でした。

自己評価は自分を厳しく評価することで欠けている部分の研鑽が積めるため高い評価ばかりが良い結果とは言えませんが、努力不足を自覚している学生も多いようです。今回の自己評価を2期臨床実習に生かし取り組むことを期待したいです。

2) 反省点

一番多かった反省は『知識不足のため不安や緊張が大きく、積極的に実習に取り組めなかった』でした。中には『何がわからないのかもわからない時があり、自分の知識不足と意識の低さを思い知った』という学生もおり、いずれもこれまでの自分の甘さを痛感したようです。

3) 今後の目標

『向上心を持ち、基礎知識を確実に身につけ積極的に取り組む』など、反省を踏まえ目標を定める学生が多くいました。また『自分のことで精一杯にならず、患者さんを第1に考えて行動する』など、患者理解が次に多い目標でした。

2 第1期臨床実習報告会

今年度も第1期で学んだことを1月から発表しています。学生の発表から学校では学べない大切なことをたくさん吸収していることがよくわかります。1期臨床実習中、患者様や指導者の方に資料の提供やご協力をいただき感謝いたします。

3 主な行事予定

- ・第2期臨床実習 1/18(月)~3/23(水)
- ・国家試験 3/6(日)
- ・卒業式 3/10(木)
- ・食育インストラクター3級認定式 3/17(木)
- ・春休み<2年生> 3/25(金)~4/3(日)